

◇Ⅲ期重点活動「学習の取り組み」について

Ⅲ期スタートの伊藤さんの話を紹介します。



みなさん、あけましておめでとうございます。充実した冬休みを過ごせましたか？
きっとたくさんの方が今日のテストに向けて勉強に力を入れていたと思います。

勉強といえば、1月の重点活動は学習ですね。私は、Ⅲ期特に学習に力を入れて頑張っていきたいと思っています。学習は川島中の四本柱の一つです。実は、もともと学習という柱はなく、挨拶、清掃、合唱の三本柱だったということを知っていますか？ 8年くらい前、当時の生徒会の皆さんが、「先生たちに教えてもらっただけじゃダメだ。自分たちで授業を作り上げていくことが大切だ」と思ったそうです。それならば、そのために新たな柱として四本柱を掲げようとなり、それが今にも引き継がれています。

では、「自分たちでつくりあげる授業」とはなんでしょか？そもそも、なぜ「自分たちでつくりあげる授業」が大切だと当時の生徒会の人々は思ったのでしょうか？私は次のように考えました。

「自分たちでつくりあげる授業」とは「知識を身につけながら、1人1人が自分の考えを交流し、深め、自分なりの答えを導きだせる授業」だと思います。具体的にいえば、知識を身につけるだけなら、授業で受けなくても本やネットで調べれば分かります。しかし授業を受けているのは1人ではなく、学級の仲間全員です。だから、当たり前それぞれ違う意見や考えがあります。それぞれ違った考えを聞くことで、「その考えもあったか!」と違う視点から考える力が育ちます。それに、みんなで話し、お互いの意見を比べながら、自分なりの意見を考えることはとても楽しいです。例えば「主人公の私はショックを受けています」という仲間の意見に対して、「へーそうなんだ。」だけでは何の意味もありません。そこで、「何でそう思うの?」「どこからわかる?」「私も同じで、」「私は違って」と意見を深めたり交流したりすることが大切だと思います。そうすれば「主人公は夏実に背を向けられたからショックなんだ。なぜなら本文のここから放心状態になってることがわかるから。」と答えが出せると思います。

自分たちでつくりあげる授業を行うためには、今までも頑張ってきた話し手・聞き手も必要になると思います。自分の考えを聞き手に分かりやすく伝えるための話し方や、「なるほど」ではない自然な反応や、自分がその意見を理解したことを伝えたり、質問をしたりするなど、自分の意思を明確に示す聞き手の反応はとても大切です。自分たちでつくりあげる授業をすることは、先ほど言ったように、さまざまな視点から考える力や、自分の考えや答えを明確にする力が育つと思います。また、先生に教えられるだけでなく、自分たちで作り上げていくことが川島中の教育目標でもある「**自立**」にもつながると思います。

今月は学習委員会が中心となって行う、授業交流がありますね。私はそこでクラスの授業の輝きの姿を見せたり、見つけたりしたいと思っています。新たな輝きの姿を2Bに取り入れ、授業を作り上げていくことで、学級、学年、学校の四本柱をもっと高めていけるようにしていきたいと思っています。

伊藤さんは、これだけの長い文を、見事に暗記し、身振り手振りを加えながら、語っていました。特に、仲間の意見を聞いて、どう深めたり交流したりするとよいかの例を示してくれているので、具体的にどのようにしていくとよいかがよく分かりますね。ぜひ、全校で、学習を高めていきましょう!!